

## [参考事項]

成果情報名：秋田県に適したラナンキュラス栽培方法の確立

一品種の早晩性と球根冷蔵処理期間による定植適期判定の目安ー

研究機関名 農業試験場 野菜・花き部 花き担当

担当者 横井直人・間藤正美・他1名

## [要約]

ラナンキュラスの定植適期の目安となる地温は、品種によって異なる。早生系統は20℃、中生及び晩生系統は25℃、晩限は前者が15℃、後者が20℃と推察され、開花期の遅い品種から順次定植を始めると良い。球根冷蔵期間が長く、定植時期の地温が高い場合、開花期は早まるが切り花品質は低下するため、冷蔵期間と目標とする開花期を考慮して定植時期を決める必要がある。

## [キーワード]

ラナンキュラス・早晩性・冷蔵処理・定植適期

## [普及対象範囲]

県内ラナンキュラス生産者

## [ねらい]

ラナンキュラスは、冬期生産が可能な品目として注目されているが、暑さに弱く、定植時期や生育及び開花促進に必須となる球根冷蔵処理など、本県に適した栽培技術が十分に検討されておらず、普及上の課題となっている。品種数が多く、生育特性にも違いがあることから、本県の気象条件及び品種特性に適した栽培方法を確立する。

## [成果の内容及び特徴]

- 1 早生の「シュノンソー」は、9月18日定植区では生育が悪く、9月27日定植区でも抽苔数は少なく、早生の「タソス」、中生の「エシレ」及び「モンタンベール」は、9月18日定植区で最も生育が早く、定植が遅いと生育も遅くなる(図1)。
- 2 定植時期が早いほど開花始期は早まるが、「シュノンソー」は9月定植で開花本数が減少し、10月9日定植区の収量性が高く、「タソス」、「エシレ」及び「モンタンベール」は、10月定植で開花本数が減少し、3月開花がほとんどとなることから、定植適期は品種によって異なることが示唆される(図2)。
- 3 中生の「モンタンベール」及び晩生の「オンフルール」とともに5週冷蔵・9月13日定植区で開花期は早まっているが、切花長及び切花重が小さく、切り花品質の低下が見られることから、冷蔵期間と定植時期を開花期などの栽培目標に応じて調整する必要がある(表1)。
- 4 定植時期の地温の推移(図3)から、定植適期の目安は、早生品種が20℃、中生及び晩生品種が地温25℃であると考えられ、前者は地温15℃、後者は20℃を下回ると定植後の生育が遅延すると推察される。「シュノンソー」と「タソス」は早生に区分されているが、開花期は「タソス」の方が中生に近いことから、定植作業は開花期の遅い品種から順に始めるのが良いと思われる。

## [成果の活用上の留意点]

- 1 本試験結果は、農業試験場のガラス温室における限られた品種によるものであり、開花の早晩は、栽培地域及び環境により異なる場合があることに留意する。
- 2 栽培期間の気象条件は、地域及び年によって異なるため、気温の推移などを十分に考慮した上で、マルチ、遮光による地温低下処理等の対策と合わせて定植時期を決める必要がある。
- 3 本試験は、種苗会社から購入したメリクロン育成球根を使用しているため、自家養成球根とは反応が異なることが考えられる。

[具体的なデータ等]

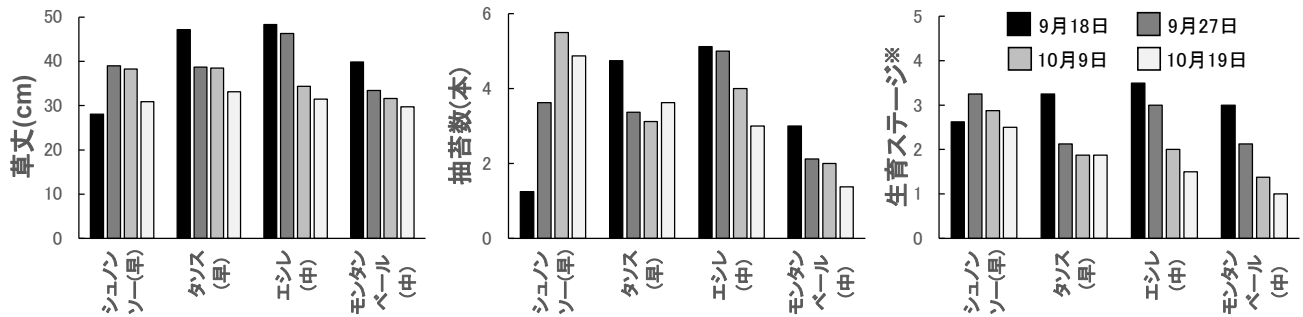


図1 定植日が生育に及ぼす影響(2018)

調査は、各試験区の定植日から2ヶ月後に実施した。品種名の括弧内はカタログ上の早晩性を表す。

※指数の平均値：[0]未抽苔、[1]抽苔始期、[2]節間伸長期、[3]花蕾肥大期、[4]花弁展開始期、[5]開花収穫期

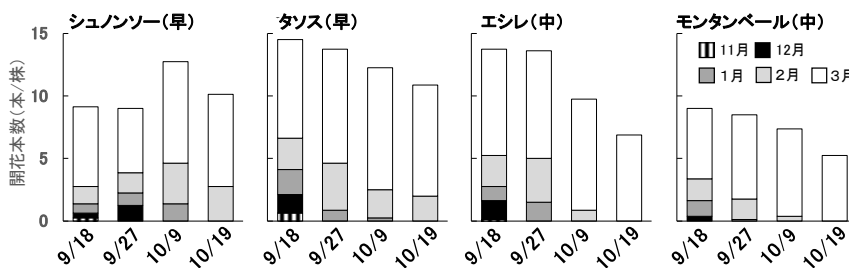


図2 定植日が開花期に及ぼす影響(2018)

品種名の括弧内はカタログ上の早晩性を表す。

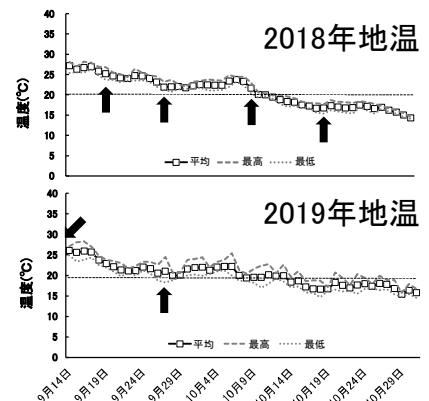


図3 栽培圃場の地温の推移

地温測定位置：地表下5cm

矢印は各試験年の定植日を指す。

表1 定植時期と冷蔵期間が切り花の生育に及ぼす影響(2019)

| 品種名 <sup>z</sup> | 定植日<br>冷蔵週数<br>(調査株数) | 収穫月<br>調査項目 | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 全期間 <sup>y</sup> |
|------------------|-----------------------|-------------|------|------|------|------|------|------------------|
| モンタンベール<br>(中)   | 9月13日<br>4週<br>(8)    | 開花本数        | 0    | 2    | 15   | 17   | 52   | 10.8             |
|                  |                       | 切花長(cm)     | -    | 55.3 | 63.6 | 66.5 | 59.1 | 61.3             |
|                  |                       | 茎径(mm)      | -    | 4.3  | 4.6  | 3.8  | 3.5  | 3.8              |
|                  |                       | 切花重(g)      | -    | 32.5 | 35.9 | 26.1 | 17.5 | 22.7             |
|                  | 9月13日<br>5週<br>(8)    | 開花本数        | 14   | 5    | 14   | 25   | 43   | 12.6             |
|                  |                       | 切花長(cm)     | 47.5 | 51.9 | 61.1 | 65.5 | 56.4 | 58.5             |
|                  |                       | 茎径(mm)      | 3.5  | 3.8  | 4.4  | 3.8  | 3.5  | 3.7              |
|                  |                       | 切花重(g)      | 13.9 | 17.2 | 24.5 | 24.5 | 14.9 | 18.9             |
|                  | 9月27日<br>5週<br>(8)    | 開花本数        | 0    | 2    | 18   | 18   | 58   | 12.0             |
|                  |                       | 切花長(cm)     | -    | 52.0 | 63.6 | 67.9 | 62.3 | 63.4             |
|                  |                       | 茎径(mm)      | -    | 5.3  | 4.2  | 4.0  | 3.6  | 3.8              |
|                  |                       | 切花重(g)      | -    | 29.0 | 22.5 | 31.2 | 17.7 | 21.3             |
| オンフルール<br>(晩)    | 9月13日<br>4週<br>(6)    | 開花本数        | 0    | 1    | 1    | 0    | 19   | 3.5              |
|                  |                       | 切花長(cm)     | -    | 45.0 | 56.0 | -    | 65.8 | 64.4             |
|                  |                       | 茎径(mm)      | -    | 6.5  | 6.5  | -    | 6.7  | 6.7              |
|                  |                       | 切花重(g)      | -    | 53.0 | 63.0 | -    | 48.2 | 49.1             |
|                  | 9月13日<br>5週<br>(7)    | 開花本数        | 0    | 0    | 8    | 3    | 14   | 3.6              |
|                  |                       | 切花長(cm)     | -    | -    | 55.8 | 55.7 | 56.7 | 56.3             |
|                  |                       | 茎径(mm)      | -    | -    | 4.4  | 4.9  | 4.0  | 4.2              |
|                  |                       | 切花重(g)      | -    | -    | 28.1 | 44.0 | 23.7 | 27.6             |
|                  | 9月27日<br>5週<br>(7)    | 開花本数        | 0    | 0    | 0    | 4    | 27   | 4.4              |
|                  |                       | 切花長(cm)     | -    | -    | -    | 69.5 | 67.3 | 67.6             |
|                  |                       | 茎径(mm)      | -    | -    | -    | 5.0  | 6.1  | 6.0              |
|                  |                       | 切花重(g)      | -    | -    | -    | 48.3 | 40.7 | 41.7             |

z: 品種名の括弧内はカタログ上の早晩性、y: 開花本数は株あたり、その他の項目は総平均値

◎試験条件

【吸水及び冷蔵処理】乾燥球根を水中に15分間浸漬し、育苗容器中のパーライトに埋め、十分にかん水した後、設定5℃(暗黒下)の冷蔵室に静置する。吸水期間を5日とし、その後を本冷蔵期間とする(2018年は4週)。

【栽培管理】馴化：冷蔵処理後5日間程度、採植密度：条間40cm、株間20cm、2条植え、施肥：窒素・リン酸・カリ各1.5kg/a、温度管理：昼温15℃換気、夜温5℃加温、定植日：《2018年》9月18日、9月27日、10月9日、10月19日、《2019年》9月13日、9月27日

[その他]

研究課題名：ランキユラスの品種特性調査

研究期間：平成30年度～令和元年度

予算区分：配当(“秋田の花”リーディングブランド産地育成事業(園芸振興課))

掲載誌等：秋田県花きイノベーション推進協議会「ランキユラス栽培指針」(2020)に一部掲載